

A D A S T R I A

INTERIM REPORT 2018

第68期 中間報告書 2017.3.1~2017.8.31

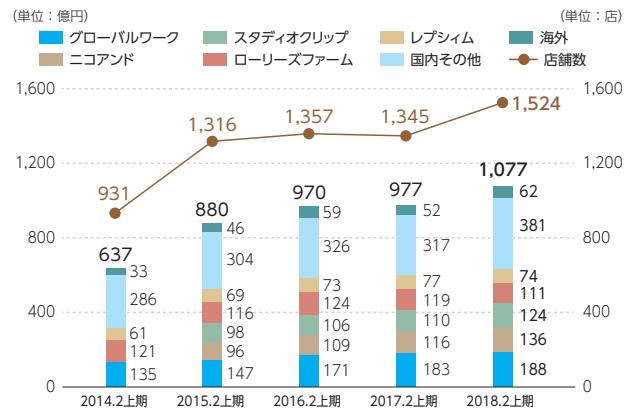




平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社の第68期上期(2017年3月1日から2017年8月31日まで)における事業のご報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

代表取締役 会長兼最高経営責任者(CEO) **福田 三子男**
 代表取締役 最高執行責任者(COO) **松下 正**

店舗数およびブランド別売上高推移



		前年同期比
売上高	1,077 億円	+10.3 %
営業利益	40 億円	△49.9 %
経常利益	41 億円	△48.5 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50 億円	+3.9 %

新規連結効果により増収、純利益では増益を確保

当上期の売上高につきましては、「ニコアンド」「スタディオクリップ」などが既存事業を牽引したことに加え、株式会社アリシア・Velvet, LLCの新規連結効果もあって、連結売上高は1,077億円(前年同期比+10.3%)となりました。

収益面につきましては、在庫消化促進のため値下げ率が上昇し、売上総利益率は55.8%(前年同期比2.1ポイント減)となりました。一方、新規事業の立上げ、システム投資など将来の成長に向けた投資に加え、東京本部移転に伴う費用の計上もあって販管費率は52.0%(前年同期比2.4ポイント増)となり、営業利益は40億円(前年同期比

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



詳しい決算情報については <http://www.adastria.co.jp/ir/>

50.1%)と大幅な減益となりました。特別利益として投資有価証券売却益43億円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億円(前年同期比+3.9%)と増益を確保いたしました。また、期初に公表した予想に対しては、売上高、利益ともに未達という、大変厳しい結果でした。

下期は当初予想を達成すべく諸施策に取り組んでまいりますが、上期の未達額については通期業績見直しから引下げ、下記の通り変更させていただきます。

アパレル業界は“新たな価値創造”の時代に

昨今、様々な新聞雑誌で国内アパレル業界全体が衰退しているというような論調を目にします。人口減少に伴う市場の縮小、消費者の嗜好を後追いついてきたことによるブランドの同質化、“ファッション”の領域がアパレルだけでなくライフスタイル全般をも意味するようになったこと、テクノロジーの進化による消費者行動の変化など、業界を取り巻く背景は大きく変化しております。また、若年人口の減少に加え、長時間労働などの問題もあってアパレル業界で働くことの魅力が低下し、人材採用難をもたらしています。

アパレル業界全体が今、大きな変革を迫られているのです。

このような環境下でアダストリアは、引き続き4つの「変える」をテーマとして変革に取り組んでいます。お客さまの買い方の変化に合わせてWEBと店舗のあり方を再定義する「売り方を変える」、アパレルの枠を超えてライフスタイルを提案する「売るものを変える」、多様な価値観やライフステージに応じた働き方の実現を目指す「働き方を変える」、自社企画による差別化商材の開発を強化する「作り方を変える」を軸に、これまでの企業主導の価値提案ではなく、顧客主導で生まれる“新しい価値創造”に挑戦してまいります。

当上期は特に、これらの挑戦の基盤となる仕組みづくりとして、基幹システム刷新・物流施設拡充等のインフラ整備、地元の人材活用・地域活性化をミッションとする支店の全国配置など、成長のための打ち手を着実に進めてまいりました。

さらに、コスメ・インナー・ジュエリーなど、新カテゴリーの開発も順調です。今秋から来春にかけて、新しいブランドをみなさまのもとへお届けできる見込みですので是非ご期待ください。

当上期は厳しい結果となりましたが、何が要因であったかしっかりと分析をしつつも、変革の動きは緩めることなく歩みを続けてまいります。株主のみなさまにおかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年2月期の通期業績予想の修正について

上期の期初予想未達を受け、通期業績予想を変更しました。下期につきましては、単体増収および株式会社アリシア・Velvet, LLCの新規連結効果で増収となることに加え、仕入コントロールによって値引きロス削減することで収益性の改善を図ります。

	2018年2月期 通期業績見直し	前期比
売上高	2,305 億円	+13.2 %
営業利益	135 億円	△9.5 %
経常利益	135 億円	△10.8 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	110 億円	△5.0 %



マルチブランドですべてのお客さまの満足を創る

一人ひとりが“自分らしさ”をたくさんのお客さまの中から選べるいま、当社はお客さま一人ひとりの感性と創造的な暮らしに、多彩なブランド展開でお応えするマルチブランド戦略を強化しております。積極的な施策により、新たなブランドがアダストリアグループの一員となりましたので、紹介いたします。

ALICIA

2017年2月にグループ化した株式会社アリシアのブランド。自社ECサイト[.st] (ドットエスティ)での取り扱い開始、ポイント制度統合により、アダストリアグループのブランドとして新たな一歩を踏み出しました。



PAGEBOY
ページボーイ

ターゲット: 20歳代の女性
店舗数: 国内:59店

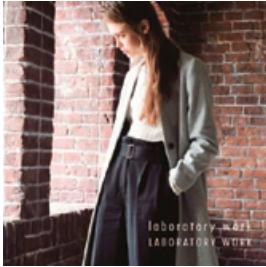
“特別なレギュラーブランド”というアイデンティティが創りだすハイカジュアル。「PAGEBOY」はトレンドとベーシックがウェルバランスないつもあたらしいリアルクローズを提案します。



mysty woman
ミスティウーマン

ターゲット: 25~32歳の女性
店舗数: 国内:34店

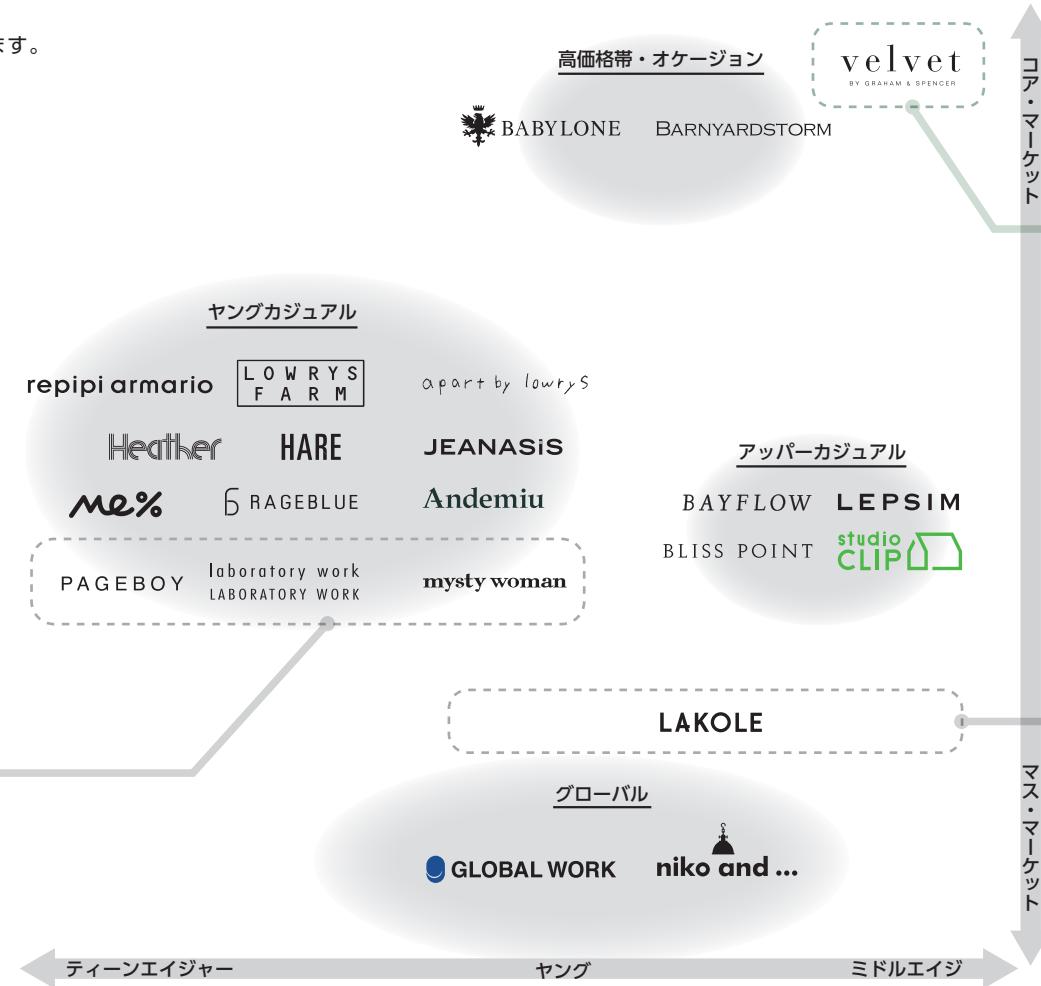
凛とした透明感を大切にしたい優しいスタイル。時代と共にリアルに変化を続けるベーシックカジュアルを基本とし、最新のトレンドにブランドらしいエッセンスをミックスしたトータルファッションを提案します。



laboratory work
LABORATORY WORK
ラボラトリーワーク

ターゲット: 25~30歳代の女性
店舗数: 国内:18店

ディティールに都会的な香りを感じさせる大人カジュアル。素材や縫製の上質感は保ちつつリアルな価格帯を追求し、ジャンルやオンオフを問わず、様々な日常シーンに肩ひじを張らずに着られる服を提案します。



velvet

BY GRAHAM & SPENCER

ベルベットパイグラハムアンドスペンサー



モダンで洗練されたベーシックアイテムを男女向けに展開。米国にある直営9店舗に加え、高級百貨店、ハイエンドセレクトショップを通じてお届けしています。

ターゲット: 30歳~の女性、男性 | 店舗数: 海外:9店

LAKOLE

ラコレ



日常のちいさなストレスを軽減する「ライフ・ファンクション」を搭載。LAKOLEは「アレも、コレも、ラクに。」をコンセプトに、数多くの「ライフ・ファンクション」を開発し、より多くのお客さまの生活を「ラク」にしています。

ターゲット: エイジレス、ジェンダレス | 店舗数: 国内:10店

基幹ブランドの進捗

GLOBAL WORK



売上高：188億円（前年同期比102.5%）

- ファッション性の強化
- キッズのサイズ展開拡大
- 国内初のカフェ業態
『GLOBAL WORK CAFE』
イオンモール浜松市野店内にオープン



Check

大型店化戦略

グローバルワーク、ニコアンドは当社の基幹ブランドとして、店舗の大型化を進めることを基本戦略としています。

店舗を大型化することで、アパレルに限らず様々なカテゴリーの商品・サービスを展開し、存分にブランドの世界観を表現することが可能となります。幅広い層のお客さま一人ひとりのライフスタイルに合わせた、自由な価値創造を提案してまいります。

また、海外ではブランドの知名度が低いことから、注目度の高い場所でブランドのメッセージを体現し、多くのお客さまとの接点を創出

niko and ...



売上高：136億円（前年同期比117.0%）

- EC売上が好調
- 10周年プロモーション
- 旗艦店商品カテゴリーの郊外大型店への導入
- コラボアイテムの展開

する大型店の存在が、ブランドの成長に不可欠です。

大型化にあたっては、商品ラインアップの拡充や店舗サイズに合ったオペレーション力をつける必要があると考えています。ニコアンドでは、郊外ショッピングセンターの大型店でも原宿・明治通りの旗艦店『niko and ... TOKYO』の世界観を表現することを目指し、旗艦店に匹敵する品揃えと店頭演出を強化したところ、お客さまから高い評価をいただきました。

BAYFLOW / “DAIKANYAMA BEACH (代官山ビーチ)” を開催

ベイフローは、アメリカ西海岸のトレンドを30~40代の男女に提案するブランドとして2014年春に誕生しました。立ち上げからわずか3年で年間売上高50億円を突破する急成長を遂げ、その勢いは衰えることなく、当上期の売上高は37億円（前年同期比160.9%）と好調に推移しており、店舗数は37店となりました。

“ゆとりある大人のライフスタイル”を提案するベイフローでは、重点運営施策として、「BAYFLOCAL」を打ち出し、各地で活躍するローカルヒーローたちとともに、地域に根付いたワークショップイベントを実施しました。

2017年8月には、期間限定で“代官山T-SITE GARDEN GALLERY”にて、ポップアップストア“DAIKANYAMA BEACH (代官山ビーチ)”を開催。朝はヨガ、昼はアクセサリーブックリーのワークショップ、夜は映画鑑賞と1日中多くのお客さまで賑わいを見せたイベントとなりました。

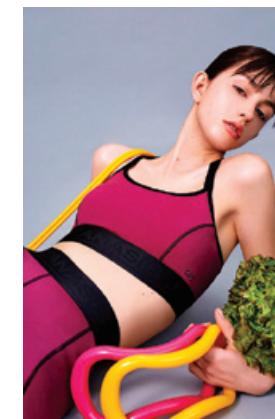
今後もこのようなイベントを各地域で展開し、地元の方々から来店する動機づくりを進め、成長スピードの維持を図ってまいります。



JEANASIS / オリジナル“YOGA WEAR”を発売

新たなカテゴリーとして、ジーナシスは“タフネス&ビューティ”をコンセプトに、ブランド初となるヨガウェアを2017年5月から発売しました。“芯のある女らしさ”を提案するブランドであるジーナシスの世界観を活かし、ファッションとワークアウトを通して外見も内面も美しいタフな女性像を提案します。

ヨガやワークアウト時に着用できるブラトップやスパッツはもちろん、タウンユースや日常にも取り入れやすいデザインのカットソーやジャージ、レギンスをラインアップしています。



JEANASIS



HARE / 「Amazon Fashion Week TOKYO」に初参加！

世界のファッション・ウィークの中でも、歴史性、話題性から情報発信力が大きいファッション・ウィークの一つとされる、「Amazon Fashion Week TOKYO 2017 A/W」にハレが当社から初参加しました。ハレの世界観を存分に発揮し、東京発のブランドとして世界にアピールできる絶好の機会となりました。

また今回のショーは、ショーピース(ショーのためだけに作成された洋服)ではなく、実際に店舗やオンラインストアで購入できるアイテムで構成し、商品の一部は自社ECサイト[.st](ドットエスティ)でショーの生中継をご覧いただきながら商品が購入できる「SEENOW BUY NOW」を実施しました。

この秋、10月に開催される「Amazon Fashion Week TOKYO 2018 S/S」では、ハレとともに、グローバルワークも参加いたします。

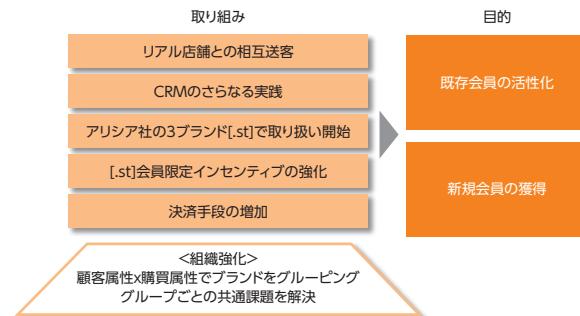


WEB事業 WEB事業は当上期も順調に成長し、売上高は前年同期比119.5%の152億円、国内売上高に占める比率は15.7%となりました。[.st](ドットエスティ)の会員数も620万人を突破しています。WEB事業は当社の成長を牽引する重要な柱となる事業の

一つです。既存会員の活性化および新規会員の獲得のため、リアル店舗との相互送客やCRM(顧客関係管理)のさらなる実践など様々な取り組みを実施しています。今後も新しいチャレンジを重ねて時代の変化を先取りしていきます。



※2014/2期は合併前のトリニティアーツ実績を合算済



アダストリアグループは、支えてくださる多くのステークホルダーのみならず、生産から商品の提供に至るまでの多くの過程において、社会的責任を果たしていくことに努めてまいります。取り組む社会的課題は本業との関連性を考慮し、3つの重点テーマを制定しております。

重点テーマ1 環境を守る	重点テーマ2 人を輝かせる	重点テーマ3 地域に貢献する
お客さまに満足していただける商品を提供し続けていくためには、健全な地球環境の存続が必要です。地球の持続可能な発展に向けて、環境負荷の低減につながる活動を行ってまいります。	継続的に企業が成長していくためには、従業員やお客さまをはじめとする「人」の支えが必要です。ファッションを通じ、多くの人々がワクワクするような活動を行ってまいります。	店舗を持つ私たちにとって、地域との関わりは必要不可欠です。創業の地である水戸市への貢献をはじめとして、地域の継続的な発展と活性化のために、様々なかたちで支援活動を行ってまいります。

PICK UP 環境を守る「衣料品回収プロジェクト」

ファッションを通じたエコ活動として、イオンレイクタウン(埼玉県越谷市)にて、定期的に「衣料品回収プロジェクト」を実施しております。本年は、3月と10月の2回にわたり開催いたします。3月に開催した際には10日間で、1,018名のお客さまにご協力いただき、7,613点、2.13トンの不要な衣料品を回収することができました。

回収した衣料品は日本環境設計株式会社様のご協力のもと、BRING FUKU-FUKUプロジェクトによって新しい衣料品の原料やジェット燃料、バイオエタノールへとリサイクルされます。このリサイクル手法をとることにより、焼却処分する場合に比べCO₂の発生を削減することへとつながり、持続可能な地球環境の発展に貢献することができます。

当社はこうした活動を継続して実施し、CO₂排出量の削減や限りある資源の持続可能な使用に今後も努めてまいります。

■ 「衣料品回収プロジェクト」とは？

- 1 衣料品を回収し...**
お客さまのご不要になった衣料品を期間中、特設会場にて引き取り、クーポンと交換いたします。
- 2 分別処理し...**
リサイクルにより、エタノールやポリエステル糸など、様々な原料となって生まれ変わります。
- 3 新たな素材になる！**
最終的にリサイクルされた原料は、用途によって様々な場所で再度活躍！

ポリエステル系素材	コットン系素材	その他
衣料品の原料化	エネルギー再資源化	産業系素材化



株主のみなさまへの利益配分につきましては、顧客としても株主としても満足していただけるよう、魅力あるブランドの開発、商品の提供に必要な事業への投資を行い、一層の企業価値(株主価値)の向上を図っていくとともに、配当や自己株式の取得などを通じて利益還元に努めております。

配当金の推移



株主のみなさまへの還元については、のれん償却前連結配当性向30%を基本方針としつつ、安定性も考慮して実施してまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり35円とさせていただきます。期末配当金は40円、年間配当金を1株当たり75円と予想しております。

※2016年3月1日付けで実施した1:2の株式分割を考慮した数値を記載しております。

株主優待制度

株主のみなさまには、株主であると同時に当社ブランドのファンであっていただきたいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主のみなさまに、全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。(権利確定日:毎年2月末日)



所有株式数	商品引換券贈呈額
100株以上200株未満	3,000円
200株以上2,000株未満	5,000円
2,000株以上10,000株未満	10,000円
10,000株以上	20,000円

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

買取制度
ご所有の単元未満株式を当社に市場価格で買い取るように請求できる制度

買増制度
ご所有の単元未満株式を1単元(100株)の株式にするために必要な数の株式を当社から市場価格で購入(買増)できる制度

30株×市場価格=現金受け取り

30株を当社に売却

30株ご所有

70株を当社から購入

30株+70株=100株
単元株式に整理

※株主のみなさまへ参考となる情報提供が目的であり、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。
株式の買取・買増に関するお問合せ先:三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料)

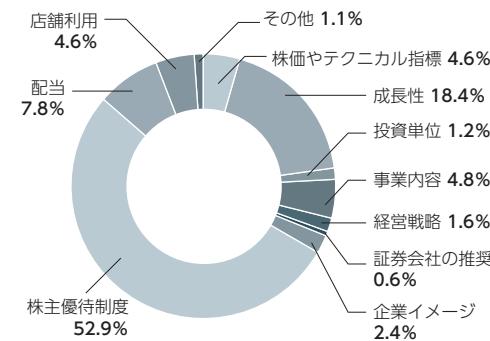


当社では、株主のみなさまのご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第67期年次報告書をお送りしたすべての株主のみなさまを対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。ご協力いただいたみなさまにあらためてお礼申し上げますとともに、その結果の一部を以下のとおりご報告申し上げます。

みなさまからいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

調査概要
調査対象: 全株主25,913名
調査方法: 第67回定時株主総会決議ご通知に同封(2017年5月26日発送)
有効回答者数: 2,078名(返送率:8.0%)

1 当社株式の購入時に最も重視したこと

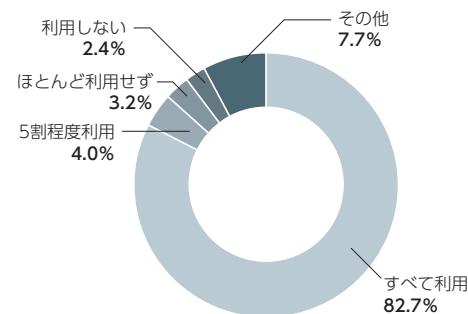


「株主優待制度」が52.9%と最多ではありますが、年々その割合は低下しており、昨年と比べても5.1ポイント減少しました。反対に「成長性」、「事業内容」、「経営戦略」といった項目が年々増加しており、昨年と比べても、それぞれ0.4ポイント、0.5ポイント上昇しました。

今後もさらなる成長を目指すとともに、株主のみなさまへより積極的に事業戦略についての情報発信をするよう努めてまいります。

2 「株主優待」と「店舗」利用状況について

株主優待の利用状況



当社店舗の利用状況

選択肢	割合(%)
株主になる以前から利用	51.2
株主になってから利用	36.3
今後、利用してみたい	5.7
利用しない	4.6
その他	2.2

株主優待を「すべて利用」が82.7%と最多となりましたが、昨年と比べて5.6ポイント減少しました。これは1の通り、当社株式の購入動機として、「株主優待制度」をあげる方が減少したことと関連があると思われます。当社店舗の利用状況については「株主になってから利用」がやや減少し、「今後、利用してみたい」が2.4ポイント増加しました。

多くの株主のみなさまに当社製品をお手に取っていただけるよう、マルチブランド戦略をさらに発展させるとともに、魅力ある商品開発を進めてまいります。

会社概要

名称	株式会社アダストリア
2017年7月より、オフィスを移転しました	
本部住所	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ27階
電話番号	03-5466-2010(代表)

設立	1953年10月22日
資本金	2,660百万円
事業内容	衣料品・雑貨等の企画・製造・販売
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 常陽銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
従業員数	正社員5,588名(グループ合算)
店舗	国内:1,409店舗/海外:115店舗
グループ会社	株式会社アリスア 株式会社エレメントルール Adastria Asia Co., Ltd. 方針(上海)商貿有限公司 波茵特股份有限公司 Adastria Korea Co., Ltd. Adastria USA, Inc. Velvet, LLC 株式会社アダストリア・ロジスティクス 株式会社アダストリア・ゼネラルサポート

※店舗数、従業員数は、2018年2月期第2四半期末の数字を表示しています。

取締役・監査役

代表取締役 会長兼 最高経営責任者(CEO)	福田 三千男	取締役	阿久津 聡
代表取締役 最高執行責任者(COO)	松下 正	取締役	堀江 裕美
常務取締役	木村 治	常勤監査役	松田 毅
取締役	福田 泰己	監査役	横山 哲郎
取締役	倉重 英樹	監査役	前川 渡
取締役	松井 忠三	監査役	海老原 和彦

※取締役のうち、倉重 英樹、松井 忠三、阿久津 聡、堀江 裕美は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※監査役のうち、横山 哲郎、前川 渡、海老原 和彦は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況(2017年8月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	48,800,000株
株主数	21,771名

大株主(上位10名)

株主名	所有数(千株)	持株比率(%)
株式会社フクソウ	16,397	34.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,909	6.1
豊島株式会社	2,000	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,260	2.6
福田 三千男	1,041	2.2
JPモルガン証券株式会社	902	1.9
福田 穰仕	790	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	560	1.2
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	556	1.2
アダストリア従業員持株会	537	1.1

*持株比率は自己株式(1,202,795株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(千株)	構成比(%)
外国人	258	7,669	15.72
個人・その他	21,298	10,615	21.75
金融機関	43	8,997	18.44
事業会社・その他法人	129	19,193	39.33
金融商品取引業者	43	2,324	4.76
合計	21,771	48,800	100.00

*個人・その他には自己株式を含めて表示しています。

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711(通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL: http://www.adastria.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

- (ご注意)
- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社アダストリア

[証券コード:2685]

〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ27階
Tel. 03-5466-2010(代表)